



あすなる

有田市立保田小学校 校長室便り
令和4年9月14日発行
第9号 (文責 校長 出口雄三朗)

～ 自分の命は自分で守る(水の事故から守る) ～

本年度の水泳授業の最終、5年生、6年生は「着衣水泳」を実施しました。有田市消防本部にご協力いただき、服を着たまま浮いてみたり、ペットボトルなど手近な浮きを持って、10分間浮くことにチャレンジしました。どうしても力が入ってしまって沈んでいく子もいるのですが、「力を抜いて～～」など声をかけてもらいながらチャレンジしていました。水の事故を自分の力で防ぐことができるよう今日の実験を忘れないで欲しいと思います。



～ 交通安全の力を高めて自分を守る ～

毎朝、校門前で子どもたちの登校の様子を見守っています。4月以降、私はずっと同じ声かけをしています。「おはよう」「(左右の)確認ができて、えらい!」「手も挙げて、えらい!」「(停まってくれた車に対して)お礼も言えて、えらい!」です。

こうなって欲しいと思う行動について声かけをします。そうすると子どもたちは、だんだんと確認するようになってきます。手を挙げるようになってきます。停まってくれた車に対してぺこりとお辞儀をするようになります。「左右を確認しなさい」「手を挙げなさい」「停まってくれたらお礼を言いなさい」ではなく、「〇〇できたね。えらいね!」とできたことを認めて、褒めます。その言葉を一緒に登校してきた周囲の子どもたちも耳にします。そうするとだんだんとできるようになってきます。

まだまだ気をつけなければならない場面もありますが、子どもたちはずいぶん交通安全の力を高めることができきています。



－ 1年生は9/5に和歌山県警にご協力いただいて交通安全教室を実施しました －



～ 災害から自分を守る ～

4年生は総合的な学習の時間に、昭和28年におこった水害について学習しています。当時の小学生の作文を読んだり、地域の方から当時のお話を伺ったりして、この保田地域も大きな被害があったことを知り、災害から身を守るにはどうすればいいかを考えています。

